

地域看護学展開論

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 岩渕 光子 特任准教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座、看護専門基礎講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

・学習方針（講義概要等）

地域で生活する人々の発達段階および健康課題に対応した保健活動の特徴について学び、母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害者対策、難病対策、感染症対策および災害対策等における保健活動の展開方法を理解する。そして、健康課題を解決するための保健活動の課題についても学修する。また、学校保健や産業保健における保健活動の特性を理解し、それぞれの場の特徴と保健活動の展開について学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

地域で生活する人々の健康課題を発達段階および疾病対策ごとに理解できる。そしてそれぞれに対応して展開される保健活動の意義と内容について法制度を踏まえ理解することができる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマポリシー：4, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 母子保健、成人保健、高齢者保健、精神保健、障害児（者）対策、難病対策、感染症対策の動向と健康課題を説明できる。
2. 発達段階および健康課題に対応した健康増進、早期発見・早期治療、障害発生・重症化予防の保健活動について、家庭訪問、健康相談、健康教育、グループ支援といった活動方法を用いて、展開されていることを説明できる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、 (矢) 大堀記念講堂

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
5/14	金	4	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>母子保健における課題と保健活動 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと親の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・子どもの発達への支援方法を説明できる <p>事前学修：国民衛生の動向 p.106-115 を読んで、母子保健対策の体系、母子保健法の概要を復習しておく</p>
5/14	金	5	地域包括ケア講座	大澤 扶佐子 准教授	<p>母子保健における課題と保健活動 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ニーズの高い親子への支援方法が説明できる。
5/28	金	4	看護専門基礎講座	遠藤 龍人 教授	<p>成人保健における課題と保健活動 1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活習慣病（高血圧症・糖尿病・脂質異常症）、メタボリックシンドロームの動向を理解し診断基準、治療を説明できる <p>事前学修：2年生で履修した「疾病論 I」の生活習慣病に関する内容を復習しておく</p>

6/4	金	1	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	<p>成人保健におけると課題と保健活動2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成人期の人々の健康課題と保健対策（法律・施策）を説明できる ・成人期の人々の健康への支援方法を説明できる ・健診と検診の違いについて説明できる <p>事前学修：国民衛生の動向 p.83-105、166-168 を読んで、健康状態と受療状況の動向、特定健康診査・特定保健指導の概要、健康増進対策を復習しておく</p>
6/4	金	4	地域包括ケア講座	松岡 真紀子 助教	<p>高齢者保健（介護予防等）における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢期の人々の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・高齢期の人々の健康への支援方法を説明できる <p>事前学修：国民衛生の動向 p.115-117、243-255 を読んで、認知症施策の変遷、介護保険サービス利用の手続きとサービス等の種類を復習しておく</p>
6/11	金	1	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>障害者対策および難病対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人々の健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・難病療養者の健康課題と対策を説明できる ・多機関が連携した支援システムの構築について理解できる <p>事前学修：国民衛生の動向 p.117-122、169-173 を読んで、障害者総合支援法、自立支援医療、難病対策の変遷、を復習しておく</p>

6/11	金	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>精神保健対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域集団の精神保健における健康課題と対策を説明できる ・人々のこころの健康づくりを目的とした支援方法を説明できる ・精神疾患・精神障害による療養者への健康への支援方法を説明できる ・精神の健康への支援においてニーズが高い対象者への健康支援方法を説明できる <p>事前学修：国民衛生の動向 p.122-129 を読んで、精神保健対策の変遷、精神保健福祉法による医療体制、障害者総合支援法による給付・事業について復習しておく</p>
6/14	月	3	地域包括ケア講座	岩淵 光子 特任准教授	<p>感染症対策における課題と保健活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症における健康課題と対策（法律・施策）を説明できる ・感染症に罹患している人々の生活障害の特性や課題に応じた支援方法を説明できる <p>事前学修：国民衛生の動向 p.135-165 を読んで、感染症の動向と感染症の種類（感染症法に基づく分類）を復習しておく</p>

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	国民衛生の動向 2020/2021	厚生労働統計協会	厚生労働統計協会	2020
教	公衆衛生看護学.jp 第5版	荒賀直子 他編	インターメディカル	2020
参	標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動 第4版	松田正巳 他	医学書院	2017
参	公衆衛生看護学第2版	上野昌江 他編	中央法規	2016

・ 成績評価方法

定期試験 100%で評価する。

・ 特記事項・その他

【事前事後学修の具体的内容及び時間】

地域看護学方法論で学修した活動方法と、本科目で扱う発達段階と健康障害別の保健活動との関連を考えながら事前事後学修を行うこと。事前学修は、シラバスに記載されている授業内容及び到達目標や講義中に提示した予習ポイント・課題を学修して臨むこと。事後学修は、本科目指定の教科書だけでなく、授業内容に関連した履修済の教科書や配布資料、ノート等を用い復習すること。事前事後学修時間は各回最低 30 分を要する。

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

- ・ 適宜、Webclass に授業中に解説した資料等を掲載するので確認すること。
- ・ レスポンスカード等については、次の授業等で適宜コメントを伝える等、学生にフィードバックする。

【その他】

適宜、講義中に事前学修の発表時間や、教員とのディスカッションの機会を設ける。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護活動展開論
助産師（別表 2）：基礎助産学
看護師（別表 3）：統合分野 在宅看護論

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
講義	DVD（ブルーレイおよび一般 DVD）再生機器	1	講義時資料投影